

【令和7年度の取組内容について】

1. 養成講座受講および実施準備

令和8年度研修案

- ◆ 令和7年度は教育委員会事務局内職員を対象に研修受講者を募集
- ◆ 滋賀県主催の研修を体系的に行うための情報収集を兼ね、先進県の研修を受講
- ◆ 岡山県の養成講座（初級・中級・上級）を、のべ19名が受講
- ◆ 宮城県の養成講座を3名が受講
- ◆ 令和8年度研修計画の策定

【上級】 防災体制の整備／地域との連携／
平時の防災教育について／
派遣の流れ

【中級】 学校再開までの道のり／
学校再開に向けてのロードマップ／
心のケア

【初級】 被災後の学校の状況／
滋賀県の能登支援について／
滋賀県の災害リスク／防災学習

～うまくいかなかったこと・反省点～

- ☹️ 計画よりも視察・研修に行く回数が少なかった
→他府県や防災部局に相談し、代替手段を検討できるとよかった
- ☹️ 業務多忙や周知不足により、研修会の参加者が見込みより少なかった
→各所属への丁寧な説明、研修日程の追加設定ができるとよかった



【令和7年度の取組内容について】

2. 周知・広報活動（D-EST通信の発行例）

D-EST通信 第2号

令和8年1月30日発行：滋賀県教育委員会事務局教育総務課
TEL：077-528-4511

D-ESTチーム員養成講座

チーム員養成講座って、なに？

所定の養成講座を受講することで、チーム員になることができます。先進県の岡山県をモデルに、滋賀県でも令和8年度から初級・中級・上級を実施予定で、3講座受講でチーム員になることができます。

岡山県の養成講座 （初級編）受講レポ

滋賀と岡山は似てる!?

平成30年7月の豪雨災害まで、岡山県は「晴れの国岡山」と呼ばれるように、自然災害が少ない地域で、大規模災害の経験者がほとんどいませんでした。

「これまで災害を経験し
たことがなかったから」
「大丈夫だと思った」

▶ 避難しない
逃げ遅れる

避難所の運営をどうすれば
いいか、何に気を付け
ればいいのか、わからない

▶ 避難所閉鎖、
学校再開が
遅れる

クロスロード

防災シミュレーションゲーム。災害時に発生するケースにYESかNOか考え、グループで意見を出し合います。

①大学受験を控えた高校3年生が避難所運営を手伝いたいと申し出てきた。担任として、手伝わせる。

②災害時、保護者へ児童生徒の引き渡しの際、ある児童の親と連絡がつかない。その親から言われて引き取りに来たという方に、児童を引き渡す。



D-EST通信 第8号

令和8年2月10日発行：滋賀県教育委員会事務局教育総務課
TEL：077-528-4510

D-ESTチーム員養成講座

研修参加者の感想を紹介します！

令和7年度は、先進県である岡山県教育委員会が主催する研修に、滋賀県教育委員会からは、のべ18人の職員が参加しました。

いずれの講義も、自らの意識を改め、頑張っていこうと前向きに思える、素晴らしい研修でした！参加者の感想を一部ご紹介します！

※D-EST:「Disaster Education Support Team」の略
災害が発生した際に、被災した学校等に派遣される教職員等のチームです。

岡山県養成講座 参加者の感想

参加者の感想（3）

研修のレポートだけでなく、チーム員養成講座で感じたことを、所属の朝のスピーチで発表した職員もいました！

先日、岡山県に「学校災害支援チーム」の研修に行かせていただきました。「学校災害支援」とは、自然災害などで被災した地域において、避難所となった学校の再開に向けた支援を行うチームのことです。先進県は、兵庫・宮城・熊本・岡山など、過去に被災して、他府県からの支援を受けたところが多いです。



研修で、「恩送り」という言葉を教えてもらいました。誰かから受けた親切を、その人に直接返すのではなく、別の人に渡すこと。「恩返し」の方がよく使いますが、恩って、返しきれない方が多いですね。

この仕事にしても、これまで多くの方に助けていただいたし、たくさんのことを教えてもらった。そんな大きな大きな御恩を返せぬまま別れたばかりです。

だから、この感謝の気持ちを今度は別の誰かのサポートとして行動に移そうと思います。そして、それがまた別の人に渡っていくといいなと思います。

「恩送り」を意識すると、不思議と仕事の流れがスムーズになり、「助け合いの連鎖」が生まれる。時間の使い方でなく、人と人との関わり方も見直すことが質の高い仕事には大切なのではないのでしょうか。

（幼小中教育課 教員）

来年度（令和8年度）からは
滋賀県教育委員会主催の研修を実施します。

来年度（令和8年度）からは
滋賀県教育委員会主催の研修を実施します。

【令和7年度の取組内容について】

2. 周知・広報活動（D-EST通信の内容）

第1号「D-ESTって何？」

第2号「チーム員養成講座って、なに？」

岡山県養成講座（初級）レポ

第3号「講座は何級まであるの？」

岡山県養成講座（中級）レポ

第4号「とうとう上級編も受講してきました」

岡山県養成講座（上級）レポ

第5号「D-ESTって、他府県支援のため？」

岡山県養成講座（上級）レポ②

第6号「D-ESTチーム員って、教員だけ？」

研修参加者感想（行政職）

第7号「D-ESTは全国にどれくらいあるの？」

宮城県研修レポ

第8号～第11号

研修参加者レポ

～反省点～

☹️ 発行時期が遅く、研修参加の
動機付けにならない
参加者増につながらなかった
→ 完璧な原稿でなくていい！
とにかく発行して知ってもらうことが大事！！

☹️ 局内職員の理解が思いのほか
進んでいなかった
→ 担当外の業務は
基本無関心と心得ること。
アピールは強引なくらいで
丁度いい！



✉️ 教育委員会内、県立学校、市町教育委員会へ送付！

💻 庁内および県立学校の掲示板に掲載！



【「D-ESTしが」の枠組みについて】

防災危機管理局
(知事部局)

国

情報共有

派遣協力

研修協力

教育総務課

保健体育課

総合調整

研修実施

学校安全

学校指導

研修協力

推薦

派遣依頼

各学校

チーム員
認定

研修実施

被災地派遣



平時も防災教育や
防災訓練で成果を
学校に還元！

【令和8年度の計画について】

養成講座スケジュール（案）

上級

- ・防災体制の整備（専門家）
- ・地域との連携（専門家）
- ・平時の防災教育について（保健体育課）
- ・派遣の流れ（教育総務課）

中級

- ・学校再開までの道のり（先進県チーム員）
- ・学校再開に向けてのロードマップづくり（保健体育課）
- ・心のケアについて（外部団体）

初級

- ・被災後の学校の状況（先進県チーム員）
- ・滋賀県の能登支援（防災危機管理局）
- ・滋賀県の災害リスク（専門家）
- ・防災学習（委託または防災危機管理局）

※初級：8月19日 中級：10月上旬 上級：2月上旬

GOALS

- ① 令和8年度末
チーム員認定

20 名以上

- ② 各研修受講人数

50 名以上

